



障害のある子どもの暮らしを考える シンポジウム in 横浜

—児童福祉法改正と 障害のある子どもの暮らし—

核家族化・シングルマザーの増加、地域での共同機能の弱体化など様々な要因が重なり、障害のあるなしに関わらず、子育ての力は弱くなってきているといわれています。まして障害のある子の子育てはより一層困難を伴うため、子どもと家族を支える地域のネットワークがますます重要になっています。

一方、短期的、長期的に施設を活用したり里親家庭で養育されるなど、いわゆる社会的養護を必要とする子どもが増えています。こうした現実を受け、児童福祉法改正では里親ファミリーホーム、障害児専門里親などが創設されました。

また横浜では地域活動ホームの整備もすすめられ、障害のある子どもを取り巻く現状は急速に変化してきています。障害のある子どもが地域でふつうに暮らせる支援のあり方、そして社会的養護が必要になった子どもの問題など、幅広い課題について皆さんと一緒に考える機会を持ちませんか？

日 時： 2009年3月12日(木) 10:30～13:00 (受付 10:00～)

場 所： ラポールボックス (横浜ラポール2階：横浜市港北区鳥山町1752)

講 演 「児童福祉法改正と障害のある子どもの暮らし」
大塚晃氏 (上智大学教授)

シンポジウム 「子どもと家族を支える地域支援・施設・里親」

地域活動ホームから	森宏太氏	(地域活動ホームともだちの丘)
入所施設から	荒江俊樹氏	(白根学園児童寮)
障害児里親から	北川聡子氏	(社会福祉法人 麦の子会)
コメンテーター	大塚晃氏	(上智大学教授)
司会	内藤真起子氏	(中区障がい者生活支援スペース ぽ～と)

資料代： 500円 (当日会場でお支払いください)

主 催： 障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会

後 援： (社福)横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター
横浜障害児を守る連絡協議会 (依頼中)

連 絡 先： 中区障害者生活支援スペースぽ～と TEL045-628-3572

【申込フォーム】

氏名 (ふりがな)	所属・事業所名	連絡先 (電話番号・FAX)

--	--	--

上の欄にご記入の上、FAX045-628-3573（ぽ〜と）までお送り下さい。